

別紙 1

新型 PaperLab 本体（プロトタイプ）他 概仕様

	PaperLab A-8000 (現行モデル)	PaperLab A-8000 リフレッシュモデル（プロト タイプ）	新型 PaperLab 本体（プロトタイプ） + 新型 PaperLab 専用シュレッダー （プロトタイプ）
製紙サイズ	A4/A3	A4/A3/A3 延長	A4
製紙速度	約 720 枚/時		約 360 枚/時
結合剤	ポリエステル		天然素材
紙厚	普通紙/厚紙		普通紙/名刺厚（検討中）
色指定	プレーン/W/C/M/Y		プレーン
シュレッダー 機能	一体		別体
環境貢献 見える化	×	○ (パネル、PC、スマホ確認)	○ (パネル、PC、スマホ確認)
紙種変動 対応	×	○	○
本体サイズ	W2.85m × D1.43m × H2.01m		本体： W3.35m × D0.91m × H1.28m 専用シュレッダー： W0.5m × D0.52m × H0.96m
重量	1,750Kg		本体：約 900Kg 専用シュレッダー：約 100Kg

別紙 2-1

新型 PaperLab 本体（プロトタイプ）および新型 PaperLab 専用シュレッダー（プロトタイプ）の特長

特長 1：本体サイズを小型化、導入コストを小さく

設置場所の制約解消や導入コスト減により、お客様のご負担を軽減し、“よりオフィスに導入しやすい/紙循環しやすい”を目指し、お客様のさまざまなシーンに合わせてお使いいただくことを想定しています。



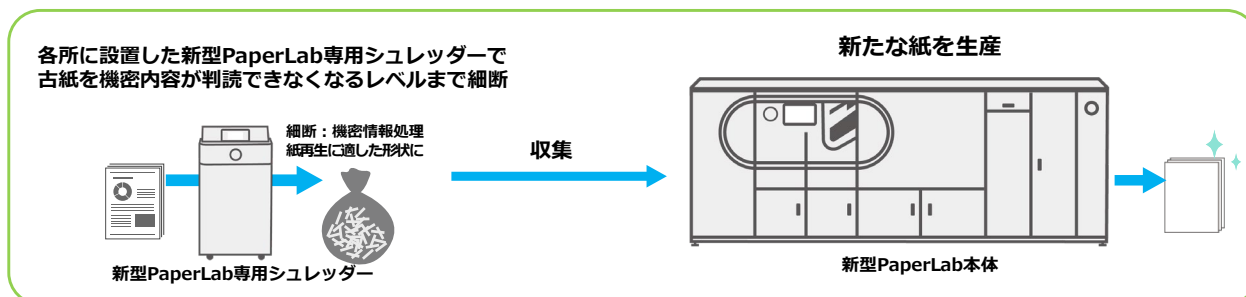
特長 2：新型 PaperLab 専用シュレッダーの導入により、古紙回収が容易に

新型 PaperLab 専用シュレッダーは、古紙をその場で細断し、機密内容が判読できなくなるレベルまで細かく、かつ新たな紙として再生するために適した形状にする機器です。

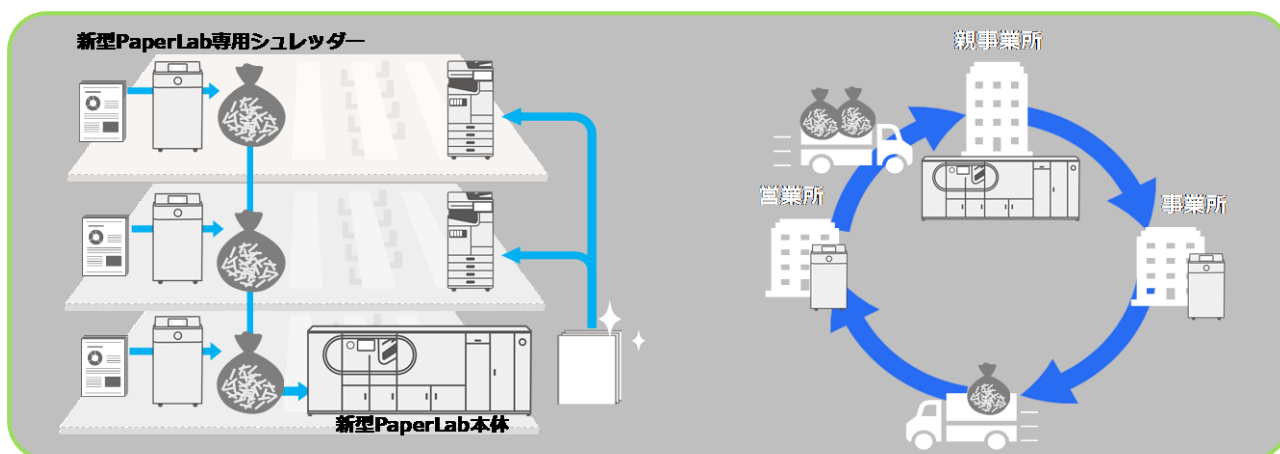
この機器を各所に設置することで、新型 PaperLab 本体が近くになくとも、さまざまな場所から安心して古紙を回収できます。

各所に設置された新型 PaperLab 専用シュレッダーで細断した古紙は、新型 PaperLab 本体がある場所へ集約され、新たな紙に生まれ変わります。

このプロセスにより、複数の企業間や自治体を中心とした地域社会の皆さまをつなぐ、新たな紙循環サイクルの実現を目指します。



別紙 2-2



新たに実現を目指す紙の循環モデル

特長 3 : 「天然由来材料への置き換え」と「紙の繰り返し循環」で環境負荷のさらなる低減に貢献

新たな紙の再生工程において、繊維化した古紙を結合する際に使用する「結合材」を天然由来の材料に置き換えます。また、新型 PaperLab 本体で再生した紙を繰り返し循環できるようにすることで、さらなる環境負荷の低減に貢献します。

結合材を天然由来材料に置き換え



特長 4 : 「環境貢献量の見える化」機能を搭載

新型 PaperLab では、「環境貢献量の見える化」機能を搭載、本体パネルや PC/スマートフォン上で確認でき、より環境貢献を実感いただけるようになります。なお、本機能は、PaperLab A-8000 リフレッシュモデルにも搭載しています。



※上記画面はプロトタイプにおける表示例です。製品版は表示内容が異なる可能性があります。